

「住環境の維持・保全懇談会」の検討が まとまりました！

「住環境の維持・保全懇談会」については、平成20年9月に第1回を開催し、平成22年2月までに7回が開催されました。その間、上石神井駅周辺地区における今後の住環境整備について幅広いご意見を頂くとともに、検討成果の取りまとめを行いました。

検討成果は、平成22年3月に開催された第33回まちづくり協議会において、懇談会座長より協議会会長に提出されました。



▲第33回協議会において、住環境の維持・保全懇談会の検討成果が提出されました。

検討成果の概要

1. 地区の住環境の状況
 - ・ 委員の目で見た地区の状況について整理
2. 地区の住環境に係る課題
 - ・ 住環境上の課題となる項目について抽出
3. 地区の住環境整備の方向性
 - ・ 課題に対する住環境整備の方向性を整理
4. 住環境整備の具体化に向けて
 - ・ 整備の具体化の道筋を「短期的～長期的」で整理

懇談会の検討成果を関係機関に提言していきます！

平成21年度は「まちの基盤整備懇談会」および「住環境の維持・保全懇談会」の検討成果がまちづくり協議会に提出されました。まちづくり協議会では、これらの内容についてさらに検討を加え、関係機関に提言していく予定です。

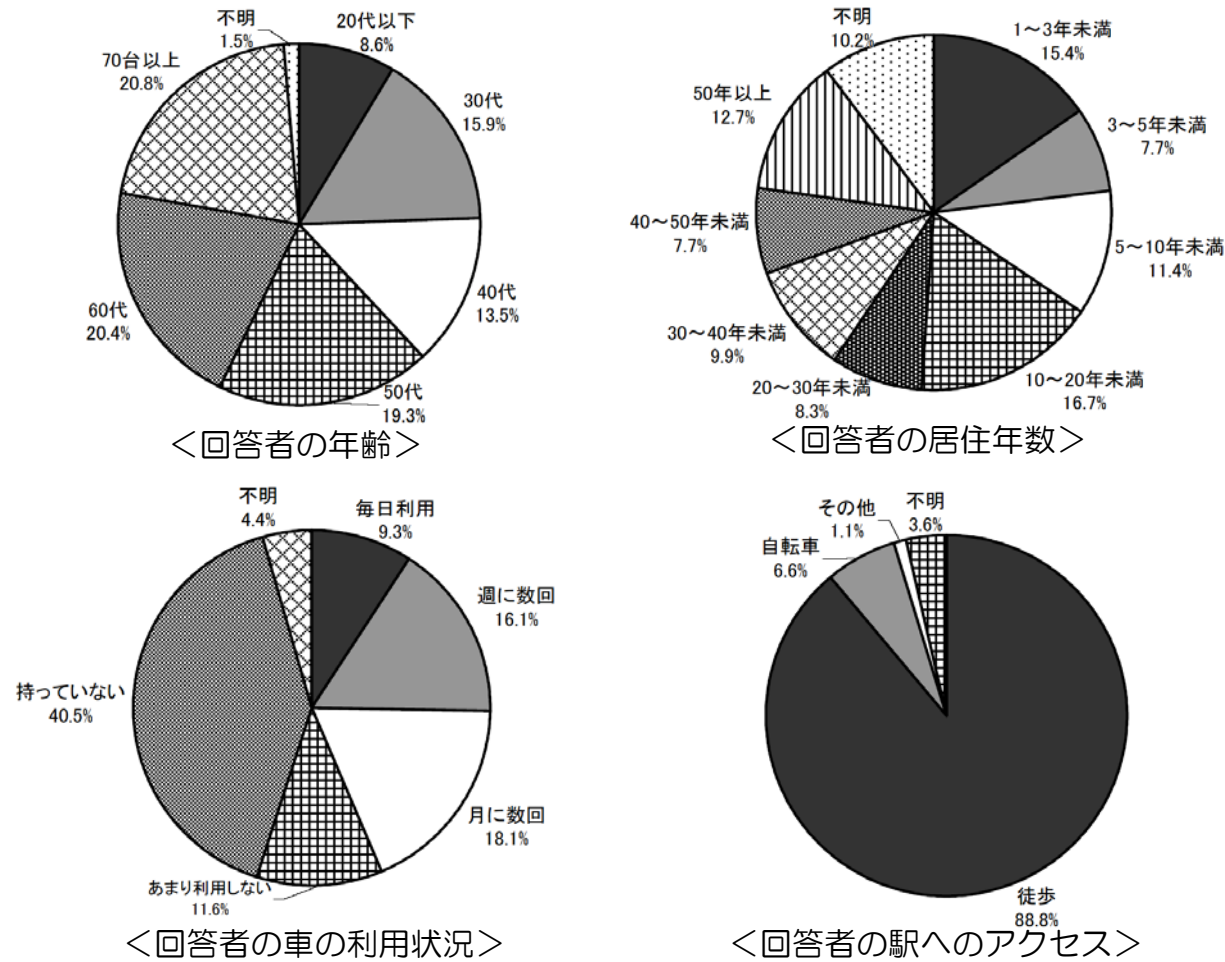
「住環境に関するアンケート調査」へのご協力、ありがとうございました。

平成21年12月に実施した「住環境に関するアンケート調査」については、計871通の返信をいただきました（配布数5,500通、回収率15.8%）。

今号では、その結果の概要をご報告します（2・3面）。

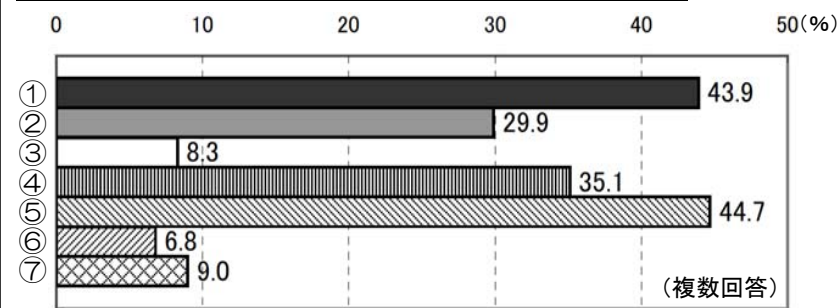
「住環境に関するアンケート調査」結果概要

■回答していただいた皆さまの横顔



- 比較的偏りなく、多様な皆さまにご意見を伺うことができました。
- 日ごろは徒歩で移動していらっしゃる方々が多くを占めました。

■住環境の今後のあり方の実現



公的な事業を活用しながら、出来るところから取り組みを実現することが望まれています。

- ① 公的な事業を導入し、行政が主体となって積極的な整備を進める
- ② 住民の話し合いでまちづくりルールを定め、ルールに沿って徐々に実現していく
- ③ 個々の地権者が、様々な助成制度などを活用しながら任意に取り組む
- ④ 『モデル的なエリア』でまず取り組み、そこで一定の成果を挙げてから次のエリアに展開
- ⑤ 『地区全体』で、適時、無理なく整備できそうな箇所（部分）への取り組みを順次進める
- ⑥ その他
- ⑦ 不明

■身近な住環境の課題と今後のあり方

■ 身近な「住環境の課題」および「住環境の今後のあり方」双方ともに、道路に関する設問で、重要度・関心度が高くなっています。

※ 黒い部分は順位が高い項目を示します。

「身近な住環境の課題」に関する設問 (「①気になる」「②少し気になる」「③気にならない」から一つを選んでいただきました)		重要度	関心度
住宅地内の身近な道路	道路の幅が狭い	5位	4位
	道路が部分的にしか広がっておらず、通行しにくい	6位	5位
商店街などの主要道路	道路の幅が狭い	3位	3位
	路側帯（白線の外側）などの歩行空間が狭く、歩きにくい	1位	1位
	歩行空間に段差や電柱、路上駐輪などがあり、歩きにくい	2位	2位
交差点	交差点のぎりぎりまで建物や塀が出ており、見通しが悪い（「隅切り」の未整備）	4位	6位
	交差点の「隅切り」部分に石やポールが置かれ、通行しにくい	8位	8位
建物	老朽化した建物が多く、まちの安全や景観面で好ましくない	20位	14位
	建物の外観デザインが街並みに配慮されていない	18位	10位
	エアコン室外機の置き方などが街並みや歩行者に配慮されていない（景観や排気の問題）	17位	12位
街並み	高層建築が街並みの連続性や統一感を崩している	16位	7位
	小規模な建物が建て詰まっており、街並みのゆとりが感じられない	11位	11位
	商店街の街並みにまとまりや統一感が感じられない	10位	9位
個々の敷地	ブロック塀が多く、敷地周囲のみどりが少ない	15位	20位
	庭先など、個々の敷地内にみどりが少ない	19位	16位
	小規模な敷地が多く、敷地内にみどりを植える余裕がない	12位	19位
オープンスペース	公園のつくり方や管理に問題があり、利用しづらい	14位	13位
	広い駐車場など、みどりのないオープンスペースが目立つ	13位	15位
	農地が開発され、貴重なみどりが失われることが不安	9位	18位
	まとまったみどりや緑道、水辺など、潤いを感じられる空間が少ない	7位	17位

「身近な住環境の今後のあり方」に関する設問 (「①早くすべき」「②可能ならそうすべき」「③しなくても良い」から一つを選んでいただきました)		重要度	関心度
道路や交通の環境整備	住宅地内の身近な道路の拡幅や可能な部分の整備を進める	6位	6位
	商店街などの主要道路を安心して歩けるように、段差の解消や電柱の移設など、歩行環境の改善を行う	2位	2位
	人通りが多い主要道路を拡幅し、安全な歩行空間を確保する	1位	1位
	交差点の安全性や消防車・救急車などの通行を確保するために「隅切り」の整備を徹底する	3位	3位
建物や街並みの環境整備	古い建物の補強や建て替えを促進する	10位	12位
	建物の外観デザインや設備の作り方のルールを決める	12位	4位
	建物の高さや規模についての一定の制限を設ける	9位	7位
	商店街の景観的なまとまりを創出する	8位	9位
敷地やオープンスペースのみどりの環境整備	敷地回りや玄関先、庭など個々の敷地の緑化を推進する	11位	13位
	小規模な宅地の開発を制限する	13位	5位
	既存の公園や緑地、農地などを保全し、維持管理を徹底する	4位	8位
	広い駐車場などの緑化を進め、みどりの連続性を創出する	7位	11位
	まとまったみどりや水辺などの潤いのある空間を整備する	5位	10位

「重要度」：(選択肢①の割合) - (選択肢③の割合)の値で、大きい順に順位をつけています。すなわち、順位が高いほど「気になる」あるいは「早くすべき」設問であることを示します。

「関心度」：(選択肢①の割合) + (選択肢③の割合)の値で、大きい順に順位をつけています。すなわち、順位が高いほどより明確な意思表示を頂いた設問であることを示します。

～ かみしゃく まち便り その6 ～

このコーナーでは、まちづくり協議会の意見交換において取り上げられた、地域の特徴を表す「もの」や「こと」をピックアップし、紹介します。今回は「上石神井出張所」です。

上石神井出張所



上石神井出張所
(上石神井1丁目6-16)

上石神井出張所は、出張所、区民地域集会所、青少年育成地区委員会事務局、児童館、学童クラブの五つの機能を持つ施設で、敷地面積約830㎡、鉄筋コンクリート3階建ての建物です。

もともと、上石神井出張所は関出張所の分室でしたが、昭和38年に出張所に昇格しました。今の場所に開設されたのは昭和48年8月で、建物ができる前は、子ども達が遊ぶ広場で、夏のラジオ体操や餅つきなどのイベントも開催されていました。

出張所開設後も、これらのイベントは継続して行われ、地域に愛される施設として長年にわたり使用されてきました。

しかし、建物の老朽化が進み、現在、大規模な改修工事が検討されています。



餅つき大会の様子
(平成11年頃)

協議会からのお知らせ

■商店街活性化に向けた取り組みを行っています！

まちづくり協議会では、平成19年度にまとめた「商店街活性化の基本方針」をもとに、具体的な活性化の取組みの実現を促進するための「出張講座」を実施しています。

商店街活性化について興味や関心のある商店会や商店主の方は、協議会事務局までお問い合わせください。

▶▶▶ お問い合わせは、お近くの委員または事務局まで…

上石神井駅周辺地区まちづくり協議会 事務局

練馬区 環境まちづくり事業本部 都市整備部 西部地域まちづくり課

(担当：渡邊、大野、大塚)

TEL：03-5984-1278 (直通) FAX：03-5984-1226